

# 一般質問通告一覧表

令和4年 第4回定例会

	質問順序	議員名	質問項目		細目方式選択
日	13 1	高橋利勝	1	農福連携の推進を	
	2	加藤徹己	1	町国保病院運営と医師確保の現状と今後について	
	3	柏崎秀行	1	まちづくり懇談会の成果と新年度予算編成について	
	4	石山憲司	1	コロナウイルス感染防止対策について	
	5	水谷令子	1	コロナ禍での地域包括ケア病床のあり方について	<input type="radio"/>
	6		2	地域おこし協力隊制度の活用で地域を変える	<input type="radio"/>
	7	阿保静夫	1	ゼロカーボンの取り組みは	
	8		2	お墓アンケートの結果と合同納骨塚のニーズは	
	9	藤田直美	1	学校給食の食品ロスへの対策は	
	10	丑若浩行	1	勇足地区の公衆トイレについて	
日	11	宮本やよい	1	学校における感染症対策について	
	12	梅村智秀	1	情報公開制度は適正に執行されているのか	
	13		2	役場業務の時間外対応の体制整備を	
	14		3	情報共有、高齢者・商店街への除雪体制整備を	<input type="radio"/>

# 一般質問通告書

議席番号 9番

議員名 高橋利勝 (1問目)

質問事項	農福連携の推進を		
質問要旨	国は障がいのある人の雇用の確保、農業従事者の人材の確保を求めて農福連携の推進を取り組んでいます。 農業のまち本別、福祉のまち本別としても農福連携の推進を取り組んでいくべきだと思いますが考え方を伺います。		
要旨の明細	農林水産省では厚生労働省と連携して、農業の課題である農業労働力の確保、荒廃農地の解消、福祉の課題である障がいのある人の就労先の確保、工賃の引き上げ等を目指して農福連携の推進を取り組んでいます。 すでに本別町の一部の就労継続支援B型の事業所では出面作業として個人の農家の方の協力を得ながら農業に従事していますが、さらなる拡大を望んでいます。 このように個人の農家の協力だけでは限界があることからも、行政、農協、事業者と協議をし、農業のまち本別、福祉のまち本別として農福連携の推進を取り組んでいくべきだと思いますが考え方を伺います。		
※要旨の明細は小項目にわたりできる限り具体的かつ詳細に記載すること			
質問の相手	町長	一問一答細目方式	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>

十分な答弁が得られるよう具体的に記載して下さい。(複数枚可)

# 一般質問通告書

議席番号 2 番

議員名 加藤 徹己 (1問目)

質問事項	町国保病院運営と医師確保の現状と今後について		
質問要旨	9月から常勤医師3名による診療体制となったが、常勤医師確保の現状と早期退職に至らないための方策、及び今後の医師確保の取り組みと病院運営について伺います。		
要旨の明細	これまで常勤医師2名での診療体制が、9月1日から人材紹介会社を通じ紹介のあった医師を採用して、現在の3名による診療体制になりました。町長は、本年度の町政執行方針で常勤医師確保を最優先に、非常勤医師も活用しながら診療提供体制の維持に努めると述べられています。しかし、これまでの医師確保の取り組みが弱いと考えます。地域包括ケアシステムの構築に向けて、今後の医師確保をどのように進めていくのか具体的な取り組みと見通しについて伺います。また、これまでの常勤医師の退職理由が個人的な事情と報告されていますが、比較的短期で退職した医師もいます。町民のかかりつけ医として長期間勤めてもらうことにより、町民の安心にも繋がると思います。早期退職に至らないために、今後どのような方策を考えているのか伺います。病院運営については、常勤医師は4名体制が望ましいと院内での共通認識があると示されました。今後の地域包括ケアシステムの中で、訪問診療や訪問看護も視野に入れながら、町民が安心して地域で暮らし続けられるような役割が求められる中、4名でも対応可能なのか伺います。		
※ 要旨の明細 は、小項目に わたり、でき る限り具体 かつ詳細に記 載すること	町 長	一問一答細目方式	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>

十分な答弁が得られるよう具体的に記載して下さい。(複数枚可)

# 一般質問通告書

議席番号 11 番

議員名 柏崎秀行 (1問目)

質問事項	まちづくり懇談会の成果と新年度予算編成について		
質問要旨	<p>「対話をかさね 想いをひとつに！」を基本理念として掲げている佐々木町長が開催したまちづくり懇談会は、6会場で延べ93人の町民の皆さんのが参加し、活発な意見交換が行われました。その様子は広報11月号にて紹介されていますが、町民の皆さんの意見を受け止め、心を合わせたまちづくりを進めるための新年度予算編成につなげるべきと考えますが、以下について伺います。</p>		
要旨の明細	<p>1. まちづくり懇談会の成果について</p> <p>①コロナ禍での開催となったが、年代や性別、参加者層など参加者全般に関する受け止めと、印象に残った町民からの貴重な意見は何かについて伺います。</p> <p>②町長と膝を交えた懇談を期待していたという声も聞かれましたが、町民が参加しやすいスタイルであったかどうか伺います。</p> <p>③懇談会には多くの職員（特に若手職員）が出席していましたが、懇談会後、職員との情報共有や意見交換など、より良いまちづくりを進めるための一助となったのか伺います。</p> <p>2. 新年度予算編成と重点事業について</p> <p>①まちづくり懇談会は、町民の皆さんのが意見を町政に反映するために開催したと考えるが、懇談会開催後、特に新年度予算に反映すべきと考えた事項は何か伺います。</p> <p>②町長が就任後、初の本格予算となる新年度予算編成においての基本的な考え方と重点事業・施策は何かについて伺います。</p>		
質問の相手	町長	一問一答細目方式	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>

十分な答弁が得られるよう具体的に記載して下さい。(複数枚可)

③また、行財政改革推進計画に基づいた役場組織機構の見直しを令和5年度のいつからスタートさせ、いつ町民周知を行うのかについて伺います。

要旨の明細

※ 要旨の明細  
は、小項目に  
わたり、でき  
る限り具体的  
かつ詳細に記  
載すること

# 一般質問通告書

議席番号 6 番

議員名 石山 憲司 (1問目)

質問事項	コロナウイルス感染防止対策について		
質問要旨	<p>新型コロナウイルスの感染拡大が続き、現在「第8波」に入ったと言われています。本町においても感染者が延べ1000人を超える。11月に国保病院でクラスターが発生し、また先週には中央小学校が学校閉鎖となっています。</p> <p>本町における感染防止対策についてお伺いします。</p>		
要旨の明細	<p>3年間のコロナ禍で疲弊した地域経済の立直しのためにも、基本的感染防止対策（マスクの着用、換気、手指消毒）の徹底と希望者へのワクチン接種が必要と考えます。</p> <p>①手指消毒、特にアルコール消毒はコロナウイルスの構成物質上、有効であると言われています。またマスク着用・換気は新型コロナウイルスの主な感染経路がエアロゾル感染であることから、ウイルスを「吸い込まない」対策としてマスク着用・換気が重要となります。マスク着用の推奨について見解をお伺いします。</p> <p>②ワクチン接種は感染予防と重症化を防ぐ効果があり、また集団免疫獲得のためにも必要です。本町における集団接種の計画、ワクチンの種類、また積極的推奨を行うのか否かお伺いします。</p> <p>③コロナ感染者の後遺症が問題になっています。本町における後遺症へのケア体制についてお伺いします。</p> <p>④本町では町内飲食店やスナック等へのプレミアム飲食券・Go To オスナックで支援を行っています。年末年始に向け、町民一人ひとりが基本的防止対策を取り、飲食店への支援を行えるよう、町</p>		
質問の相手	町長	一問一答細目方式	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>

十分な答弁が得られるよう具体的に記載して下さい。(複数枚可)

要旨の明細	としての啓発についてお伺いします。
※ 要旨の明細 は、小項目に わたり、でき る限り具体的 かつ詳細に記 載すること	

# 一般質問通告書

議席番号 4 番

議員名 水谷令子 (1問目)

質問事項	コロナ禍での地域包括ケア病床のあり方について		
質問要旨	<p>地域包括ケア病床が、新設され2年程になります。入院された患者さんやご家族からは、親切に治療やリハビリをして頂き在宅復帰が出来たと喜びの声を聴きます。一方、地域包括ケア病床に転室していたことが分からなかった事、不安だった事を聞き、次の2点を伺います。</p>		
要旨の明細	<p>1. コロナ禍での病院では、患者さんとご家族の面会がなかなか出来ない状況です。患者さんと家族の不安を取り除く為には、早い段階での入院の流れから退院までの説明や、また、治療経過やリハビリの様子などの報告をどの時期に行うか検討が必要だと考えます。さらには、すべての病床にWi-Fiなどのオンライン環境整備が必要と考えます。見解を伺います。</p> <p>2. 地域包括ケア病床の在宅復帰率と稼働率を伺います。また、チーム医療として、各職種が協働し患者さん一人ひとりの在宅復帰をサポートしていく必要があると考えます。その役割分担と地域連携室の役割を伺います。また、退院後は医療、介護、福祉の連携推進が必要と考えます。見解を伺います。</p>		
※要旨の明細は小項目にわたりできる限り具体的かつ詳細に記載すること			
質問の相手	町長	一問一答細目方式	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無

十分な答弁が得られるよう具体的に記載して下さい。(複数枚可)

# 一般質問通告書

議席番号 4 番

議員名 水谷令子 (2問目)

質問事項	地域おこし協力隊制度の活用で地域を変える		
質問要旨	<p>本別町は、平成29年度から地域おこし協力隊制度を活用し、現在、協力隊員として6人が活発に活動をしています。協力隊制度の成功としては、①任期終了を迎えた協力隊員が地域に定住定着すること②協力隊員の活動で地域が活気づくこと③協力隊員が地域で充実した生活を送ることがあげられます。以下のことを伺います。</p>		
要旨の明細	<p>1. 協力隊員の任期は1年から3年以下となっています。これまで協力隊員が活動を終了した後、本別町に定住定着した協力隊員はいるのか、また定住定着するための取り組みを伺います。</p> <p>2. 国は令和8年までに現役隊員数を1万人とする目標を立て、令和元年からは「おためし地域おこし協力隊」制度や令和3年には「地域おこし協力隊インター」制度を創設しました。本町ではこの制度を利用していく考えはあるのか伺います。例えば本町は「豆の町ほんべつ」をキャッチコピーにしていますがお豆腐屋さんがないのが現状です。唯一「豆ではりきる母さんの会」が給食センターに豆腐をおさめるなどしています。現在高齢化が進む中、会の皆さん豆の豆づくりを継承していきたいと希望しています。また、町内には後継者がいない飲食店などもあります。この制度を利用し、継承者を育成していくべきと考えますが、見解を伺います</p>		
※要旨の明細は小項目にわたりできる限り具体的かつ詳細に記載すること	町長	一問一答細目方式	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無

十分な答弁が得られるよう具体的に記載して下さい。(複数枚可)

# 一般質問通告書

議席番号 10 番

議員名 阿保 静夫 (1問目)

質問事項	ゼロカーボンの取り組みは		
質問要旨	令和3年12月に十勝町村会も発起人の一員として「ゼロカーボン行動十勝宣言」を行いました。十勝では本年7月末現在、9市町村が宣言しています。本町でも積極的に取り組むべきだと思います。本町の取り組み、考え方について伺います。		
要旨の明細	<p>温室効果ガスは二酸化炭素やメタン、フロンなど7種類が法律で定められています。温室効果ガスが増え過ぎると、地球温暖化につながり、異常気象の発生など気候変動を生じるとされています。この温室効果ガスの排出量をゼロにしていくというのがゼロカーボンの取り組みです。</p> <p>国は平成10年に「地球温暖化対策推進法」を定め、以後8回の改正を行ってきました。令和4年の改正では、国が市町村への財政措置にも努めると規定しました。</p>		
※要旨の明細は小項目にわたりできる限り具体的かつ詳細に記載すること	<p>十勝全体の取り組みとしては昨年令和3年12月14日「ゼロカーボン行動十勝宣言」が行われ、現在9市町村が再生エネルギー導入や二酸化炭素排出抑制に向けた計画策定に着手していることです。その主な取り組みは、公共の建物にゼロカーボンを取り込むように整備計画を見直していることです。</p> <p>本町においては「十勝宣言」をどのように具体化し、施策に反映していくのか見解を伺います。</p>		
質問の相手	町長	一問一答細目方式	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>

十分な答弁が得られるよう具体的に記載して下さい。(複数枚可)

# 一般質問通告書

議席番号 10 番

議員名 阿保 静夫 (2問目)

質問事項	お墓アンケートの結果と合同納骨塚のニーズは		
質問要旨	近年の墓じまい件数の増加を踏まえて、今年度、お墓について町民アンケートを実施したことですが、その結果と今後の対応について見解を伺います。		
要旨の明細	<p>本年第1回定例会の一般質問の答弁では、近年の墓じまいの件数は、毎年20件程度とのことでした。</p> <p>①町としては今年度、お墓の利用について町民アンケートを実施するとのことでしたが、どのような結果であったか伺います。</p> <p>②道内、管内では合同納骨塚を設置する自治体が増加しているとのことです。また、少子高齢化や核家族化、経済的な不安などから合同納骨塚のニーズは高まっているとも言われています。本町でも調査、研究をしていくべきと考えますが、見解を伺います。</p> <p>③合同納骨塚の設置は、身寄りのない高齢者などの心のよりどころの役割も果たすと考えます。利用希望調査を繰り返し実施している自治体もありますが、本町も引き続きアンケート等で町民ニーズの把握を図るべきと考えますが見解を伺います。</p>		
※要旨の明細は小項目にわたりできる限り具体的かつ詳細に記載すること	町長	一問一答細目方式	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>

十分な答弁が得られるよう具体的に記載して下さい。(複数枚可)

# 一般質問通告書

議席番号 7番

議員名 藤田直美 (1問目)

質問事項	学校給食の食品ロスへの対策は		
質問要旨	新型コロナウイルスにより学級閉鎖、学校閉鎖など臨時休校になり、さらに多くの食品ロスが起きています。SDGsの観点からも学校での食品ロス対策は急務となっています。本町もフードリサイクルに取り組むべきと考えますが、見解を伺います。		
要旨の明細	<p>文部科学省は2022年2月、臨時休校等の際に生じる未利用食品の利用促進等について、全国の教育委員会等に事務連絡を出した。参考事例としてフードバンクへの寄付等をあげ、教育委員会や福祉部局、学校、学校給食センターの迅速かつ柔軟な対応を求めています。本町でも学級閉鎖が相次ぎ、12月7日には中央小学校が学校閉鎖になりました。</p> <p>1. 学級閉鎖などがあった場合の対応はどのようにしているのか。</p> <p>また、廃棄された食材の量とその処理にかかる費用について伺います。</p> <p>2. 物価高騰で家庭での経済的負担が大きくなっています。生活困窮世帯や子育て共働き世代への支援として、賞味期限内の食材を使い、子ども食堂やフードバンクの設置を検討するべきと思いますが考え方を伺います。</p> <p>3. 本町には就労支援施設、また介護施設やこども園など食事を提供している施設があります。臨時休校などの場合に給食や食材を提供する仕組みをつくるべきと思いますが考え方を伺います。</p>		
※要旨の明細は小項目にわたりできる限り具体的かつ詳細に記載すること	町長・教育長	一問一答細目方式	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>

十分な答弁が得られるよう具体的に記載して下さい。(複数枚可)

要旨の明細	4. 給食の食べ残しの量と残食を減らすためにどのように取り組んでいるのか。また調理時に出る生ごみも含めてどのように処理されているのか。食品廃棄物・食品ロス削減はSDGsの持続可能な開発目標の1つであり、生ごみを堆肥にするフードリサイクルに取り組む自治体もあります。本町でもフードリサイクルに取り組むについての考え方を伺います。
※ 要旨の明細 は、小項目に わたり、でき る限り具体的 かつ詳細に記 載すること	

# 一般質問通告書

議席番号 3番

議員名 丑若浩行 (1問目)

質問事項	勇足地区の公衆トイレについて		
質問要旨	勇足地区には車で立ちよれる公衆トイレが存在せず、その地域を通行するすべての方々や地域住民は不便とともに衛生面において不快な思いをされている。今後の取り扱いについて伺います。		
要旨の明細	<p>1. 勇足コミュニティセンターの併設トイレが閉鎖される時、今後の取り扱いについては建替を念頭に地元と協議していくことでしたが、どのように勇足地域と話し合いをし、方針をかためてきたか、具体的に伺います。</p> <p>2. 現在の仮設トイレは、冬期間閉鎖され利用できない状態であるが、勇足地域の皆さんがそれによってかなりの不便、不利益を強いている事実を具体的に把握しているか伺います。</p> <p>3. 国道242号沿いには池田町利別から本別市街までトイレ設備がなく、中間地点に位置する勇足地区に公衆トイレは必要と考えるが、町としての見解を伺います。</p>		
※要旨の明細は小項目にわたりできる限り具体的かつ詳細に記載すること			
質問の相手	町長	一問一答細目方式	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>

十分な答弁が得られるよう具体的に記載して下さい。(複数枚可)

# 一般質問通告書

議席番号 1 番

議員名 宮本 やよい (1問目)

質問事項	学校における感染症対策について		
質問要旨	<p>新型コロナウイルス感染症においては、厚生労働省のデータからも子どもの重症化リスクはインフルエンザと比べても低いのが実態であり、学校での感染症対策の在り方を検討すべきと考えますが現状と見解を伺います。</p>		
要旨の明細	<p>マスクの感染予防効果、そして子どもの心身の健康や発達の影響については様々な見解がありますが、マスクが感染防止に効果があるという科学的根拠はありません。</p> <p>マスクをつけたい・つけたくない・つけることができない。健康上の理由だけでなく色々な考え方や事情があり、町内の保護者や子ども達の考えも非常に様々で、たくさんの方から悩みの声を聞いています。</p> <p>又、黙食についても文部科学省が作成している衛生管理マニュアルでは『大声での会話を控える』としており、11月8日の永岡文部科学大臣の記者会見でも『必ずしも黙食することを求めているわけではない』としています。</p> <p>以上を踏まえ、学校でどのような指導が行われているのか、今後どのように指導していくのかを伺います。</p>		
※要旨の明細は小項目にわたりできる限り具体的かつ詳細に記載すること			
質問の相手	教育長	一問一答細目方式	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>

十分な答弁が得られるよう具体的に記載して下さい。(複数枚可)

# 一般質問通告書

議席番号 5 番

議員名 梅村智秀 (1問目)

質問事項	情報公開制度は適正に執行されているのか		
質問要旨	本町では情報公開制度が設けられ、条例によってその理念とともに定められているが、その事務実務について事実と所信を質す。		
要旨の明細	「町が保有する情報は町民との共有財産である」と位置付けられ、情報公開制度は町民の知る権利を尊重するとともに、個人情報の保護を行わねばならず、適正な行政実務が求められる。然るに、本別町情報公開条例に定められた情報公開事務実務において、公開の決定とその通知、公開することができない理由とは異なる恣意的な非開示および一部開示など、およそ適正とは認めがたい事由が散見されるため、これらの是正と適正な措置が必要である。これまでの対応とあわせて事実と見解を問う。		
※要旨の明細は小項目にわたりできる限り具体的かつ詳細に記載すること			
質問の相手	町長	一問一答細目方式	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>

十分な答弁が得られるよう具体的に記載して下さい。(複数枚可)

# 一般質問通告書

議席番号 5 番

議員名 梅村智秀 (2問目)

質問事項	役場業務の時間外対応の体制整備を		
質問要旨	平日、日中のみの役場開庁時間では諸事情等により来庁が困難である町民が居り、住民サービスの向上が求められているが事実と所信を質す。		
要旨の明細	本別町役場の開庁時間は「月曜日から金曜日、8時30分から17時15分」とされ、案内や周知もなされているが、平日、日中の開庁時間では学業や仕事、生活環境等により諸手続きなどが困難となっている町民が少なくない。また、高齢の町民は特に冬期間など役場まで訪問することが困難となっている実情もある。生活環境の多様化にあわせて住民サービス、町民の利便性を図る必要性があり、速やかなる体制整備が必要である。また、昼休み時間帯(12時から13時)の窓口業務や電話応対の執務体制、町民への周知や案内はどのように行われているのか、これまでの対応とあわせて事実と見解を問う。		
※要旨の明細は小項目にわたりできる限り具体的かつ詳細に記載すること			
質問の相手	町長	一問一答細目方式	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>

十分な答弁が得られるよう具体的に記載して下さい。(複数枚可)

# 一般質問通告書

議席番号 5 番

議員名 梅村智秀 (3問目)

質問事項	情報共有、高齢者・商店街への除雪体制整備を		
質問要旨	<p>大雪時の除雪業務の滞りは、その情報共有がなされないことから町民の不満と不安が募る実情があり改善が求められる。また、高齢者や商店街の除排雪に対する協力体制の構築も急務であるが事実と所信を質す。</p>		
要旨の明細	<p>1. 近年は天候変化が著しく、時として災害級の大雪などに見舞われることがある。町道除雪が大きく遅滞し、仕事や通院など、日常生活に影響を及ぼすこともあるが、状況によっては一定の理解を得られるものの、いつ改善されるのか、現況はどのようにになっているのかが分からず混乱を招いているため、情報共有が可能な体制を整備する必要があるが事実と見解を問う。</p> <p>2. 町道除雪が遅滞した際、地域住民の善意、自助、共助の精神にて町民自らに町道等の除雪を担って頂くことがあるが、これらの把握と謝意の表明はどのようになされているのか事実と見解を伺う。</p> <p>3. 高齢化が顕著である本町が持続可能なものであるためには、高齢者や商店街への除排雪に対する協力体制の整備が急務であるが事実と見解を問う。</p> <p>4. 除排雪に対する自助、共助に対する報いのひとつとして、自治体ポイント、自治体マイナポイント、地域通貨などによって行なうことが効果的であるが事実と見解を問う。</p>		
※要旨の明細は小項目にわたりできる限り具体的かつ詳細に記載すること	町長	一問一答細目方式	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無

十分な答弁が得られるよう具体的に記載して下さい。(複数枚可)